



万が一に備えて… 町内各地域で津波災害を想定した避難訓練

6月18日、富川表町第1区・2区町内会自主防災組織(第1区・奈良 定幸会長、第2区・今入 末治会長)合同の地震・津波災害を想定した災害図上訓練(D I G)が富川母と子の家で行われ、会員31名が参加しました。参加者の皆さんは、日高西部消防組合富川消防署の富野警防係長から防災に対する意識や自助・共助の大切さを学び、大きな地図を使って避難経路を想定するなど、万が一の津波災害に備えて対策を検討しました。

また、7月2日には厚賀西部地区町内会で会員41名による津波を想定した避難訓練が行われ、徒歩のほか車を使って2ヶ所の高台に避難しました。訓練終了後には役員が反省会を行い、実際に津波が来た時の課題などを熱心に話し合われました。



平成29年度日高消防団消防訓練

水防工法実技訓練を実施

7月2日、日高西部消防組合富川消防署敷地にて、平成29年度日高消防団消防訓練が行われました。

昨年、台風が連続して通過し日高町にも甚大な被害が起きたことから、今年度の訓練は公益社団法人全国防災協会の水防専門家6名の指導による水防工法実技訓練が実施されました。

当日は消防団員90名が参加し、ロープワーク、土のう作り、釜段工、木流し工、積み土のう工を学びました。

また、北海道開発局室蘭開発建設部の災害対策車(排水ポンプ車・照明車)の展示、見学も行われました。



ナイター野球ロマネコンテ杯

おちゃっぴ〜ず 快進撃続く!

6月26日から28日にかけて、ロマネコンテ協賛のナイター野球大会が町営富川球場で開催されました。

本大会は6チームによるトーナメント戦により行われ、ハツラツとしたプレーが披露されました。

決勝戦は「おちゃっぴ〜ず」と「門別クラブ」の北海道日高乳業(株)杯と同じ対戦となり、おちゃっぴ〜ずがリードで迎えた門別クラブ最終回の攻撃は、連打とフォアボールでノーアウト満塁まで追い詰めるも、後続が凡退しゲームセット。

おちゃっぴ〜ずは、本大会2連覇となりました。



日高町建設協会

町道周辺のボランティア清掃活動

7月14日、日高町建設協会(磯田茂会長)による、町内のボランティア清掃活動が行われました。

同協会は、これまでも地域貢献活動として町道や町内施設周辺の美化作業を実施していただいております。今回は20社約30名の参加により、町道富浜1号線の約2.4kmの間の歩道沿いを清掃していただきました。

清掃後は歩行者も歩きやすく、とてもきれいな町道になりました。



「社会を明るくする運動強化月間」

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える

7月14日、「社会を明るくする運動強化月間」にあわせ、静内地区保護司会門別分区(清宮壹博分区長)により、Aコープルシナ店前で街頭啓発活動が行われました。

また、同日には門別温泉とねっこの湯にて同保護士会の浅野賢会長が三輪町長に内閣総理大臣メッセージを伝達しました。

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と、あやまちを犯した人の更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築こうとする全国的な運動です。



安心して暮らせる地域づくりを目指して

「日高町地域支え合い推進協議体」を設置

7月20日、地域の暮らしの課題や困りごとの解決策を一緒に考え行動する場として設立された「日高町地域支え合い推進協議体」の第1回会議が役場で開催され、町内のボランティア団体や自治会、自営業など様々な立場の方々、18名が委員として委嘱されました。本協議体では介護保険サービス以外の、地域活動やボランティア活動で高齢者の困りごとを支えあう体制づくりに向け、今後は地域の現状を知り、「あったらいい支え合い」「これならできる支え合い」などを話し合い、安心して暮らせる地域づくりを目指していきます。



二葉保育所運動会

青空の下、元気いっぱい駆ける

7月15日、日高町立富川二葉保育所にて、運動会が開催されました。

当日は天候に恵まれ、全児童の「運動会のうた」、児童代表による選手宣誓から運動会が始まりました。

2歳から5歳児が対象の跳び箱や平均台などを使った障害物競走に模した「ちびっこオリンピック」種目では、元気いっぱい走る児童の姿が見られました。

この日のために一生懸命練習を重ねてきた児童に、会場内は終始大きな声援で溢れていました。